

イラクからの気がかりなニュース

イラクのモスル近郊 カイヤラ空軍基地で、ISIS が、化学兵器攻撃を行った。その基地には、数百人のアメリカ軍が駐屯している。事の重大さはとてもシンプルで、数日前と約一か月前の（わたしの）メッセージで話した通り、イスラエルは、いかなる生物兵器も、シリアから我々の領地に撃ち込むことは許さない。今やシリアは、化学兵器、生物兵器の世界の首都であり、我々が、非常に注意深く注目している場所だ。間違っははいけない。ISIS は、非常に残酷なテロ組織で、イスラム原理主義者たちである。しかし、以前も言ったように ISIS は、中東にいる様々な要素の口実に使われている。シリアに入り、互いに攻撃をしかけることは、これまでには口実がなくてはできなかった。たとえば、シーア派とスンニ派の対立、アメリカとロシアの対立、トルコとクルド人の対立。これら全ての対立は、事実 ISIS を口実に使ってこれらの抗争、攻撃を行っている。わたしが思うに、中東が、これほどまでに世界大戦に近づいたことはなかった。アメリカとロシアが深くかかわり爆破しあい、何百人という人の命を奪っている。

前回のビデオ、アメリカ軍が、シリア北部で、シリアの空軍基地を爆撃した事件について。前回も言ったが、この基地は ISIS の要塞に囲まれた地区の、山の頂上にあり、2 機の F-16 と A-10 の激しい爆撃はたった 40 分で 60~80 人のシリア兵の命を奪い、さらに、ロシア兵、イラン兵、ヒズボラ、パレスチナ人テロリストの命も奪った。つまり、実に様々な、異なる要因がシリアに関わっており、一つ一つの行動が、様々な部分で多くの命を奪っている。

そこで重要なのは、ロシアは、ISIS を援護しているとアメリカを非難し、そして、ロシアが数日前、アレッポで支援物資を運ぶ車を襲撃、結果、何十人も国連支援職員が殺害された事で、アメリカはロシアを非難した。そして、今日は ISIS が化学兵器弾頭を積んだロケットを発射した。それは、マスタードガスと呼ばれるもので、ISIS が自ら製造していた物だった。これは、事実として我々も知ることで、アメリカ軍も知っている。アメリカ軍は、ISIS が化学兵器を製造していると思われる施設を、一回以上攻撃している。しかし、ISIS 自身が、自分たちで化学兵器を製造する必要は全くなく、ダマスコの地下にすでに貯蔵されているものを、ISIS が抑えればそれまで。ゲームオーバーになる。この事をイスラエルは一番心配し、危惧している。イスラエル軍の目は、ダマスコに注目しており、我々は、そこで何が起きているのか把握している。化学兵器搭載のいかなるものでも、我々の領域に発射されることを許さない。ダマスコにあるのは、ただの粉ではなく、低質の物でもなく、かなり質の高い、VX ガス、サリンガス、マスタードガスで、一旦撃ち込まれると、何十万という人が殺される。だから、イスラエルのダマスコ攻撃が、イザヤ書 17 : 1「ダマスコは取り去られて町ではなくなり、廃墟となる。」の引き金になると、わたしは見ている。

こうして話をしている間にも、数十機のイスラエルのエリコミサイルが、敵に狙いを付けていて、その大半が、イランとダマスコに向いている。イランはそれを知っており、実際、数日前に、イランはパレードを行って、イスラエルに警告した。「もし、イスラエルが間違った行動に出るなら、テルアビブとハイファを灰にする。」と言っているが、彼らはいつも口先ばかりなので、我々はそんな事を恐れない。しかし、イランが、行動に出るだけの自信をつける日は来る。エゼキエル 38 章の、ロシア率いる連合軍にはイランも含まれ、イスラエルに攻め込むためにやって来る。彼らは本気なのである。ロシアは物を分捕り、獲物をか

すめ奪うために来て、経済のためにガスや油田を奪う。イランにとって、これはとてつもなく素晴らしい機会、ついにユダヤ人、彼らの言う“小サタン”を、葬ることができる。（彼らはアメリカを“大サタン”と呼ぶ）

そして、理解しておくべきことは、戦争は開始されたのである。昨日（9/21）最後の一線は超えられた。

化学兵器が、アメリカ兵士に対して使用され、シリアがこれを終息させる時だと決意し、イスラエルに攻め込むのも、時間の問題だろう。と言っても大事なことは、わたしはそれが明日、明後日に起こるとは思わない。わたしが思うに、世界中の誰もが、アメリカの大統領(11/8)を待っている。彼らは、アメリカが最も弱くなる時を待っていて、その時にやりたいようにやるだろう。ロシアは勢いを増しており、アメリカが中東で力を失ったことを笑っている。ロシアは、かつてアメリカの味方だった国に手を伸ばし援護している。ヨルダン、サウジアラビア、さらにはトルコも、今ではプーチンの腕の中に駆け込んだ。今ではロシアが中東の力を握っており、アメリカではない。

その上、アメリカでは何か大変なことが起こっている。わたしにはよくわからないが、ここ数か月に緊張が増しており、社会不安もかなり悪化している。また大統領選も、数ある候補者の中から残った、この二人の間で誰一人として喜んでいる人はいない。誰もが、11月の大統領選が終わるのを待ち構えており、それから、中東が大きく変わるだろう。わたしは、とてもワクワクしている。その理由は明らかで、人が殺されることからではなく、人々が互いに戦うことには、絶対にそのように思わない。その結果、無実の人々が、つけを払っているのだから。しかし、現在我々が目にしているのは、わたしたちの救い主イエスご自身が言われたことの成就で、国は国に対して立ち上がるということ。イエスは「民族は民族に」と表現した。一つの民族が、他の民族に敵対して立ち上がるのは、一つの国内でも起こりうるのだ。イラク、トルコ、シリア、スーダン、リビア。民族が民族に敵対して立ち上がるのを、我々は目撃している。それから「戦争のうわさを聞く」ようになる。戦争だけでなく、だ。それは、現在北朝鮮で見ている。北朝鮮は、すでに核爆弾を核弾頭に搭載するための、非常に高度な技術のロケットエンジンを実験している。彼らが、現在力を注いでいるのは、核弾頭をターゲットまで移動させる方法で、そのロケット開発に懸命になっていて、1週間半前（9/9 北朝鮮で M5.3 の地震）に、彼らは実験を行った。これが「戦争のうわさ」で、戦争ではない。他にも現在、世界中で戦争のうわさがある。

これが皆さんの注目すべき事である。だから、現在、シリアで起こっている事に、常に注目しておく必要があるのだ。また、みなさんに言っておきたいのは、神が全てをコントロールされているということ。もし神が、これらの出来事を細部にわたって 2700～2800 年前に預言者に告げたとしたら、それは、神が、世界中の人間の心を知っておられるということで、何が起こっているかを正確にご存じで、完全にコントロールしておられる、ということだ。神は、これらの事が終わりの時に起こると言われた。その事実に、神の人々は励まされるべきである。「これらの事が起こり始めたなら、体をまっすぐにし、頭を上へあげなさい。贖いが近づいたのです。」ルカ 21：28 これらの事は、イエスが言われたのである。体の贖いが近づいている。わたしは非常にワクワクしている。これこそ、信者が待ち望むべきことで、わたしたちの、祝福された希望なのだ。祝福された希望は、「祝福された望み、すなわち、大いなる神であり、私たちの救い主であるキリスト・イエスの、栄光ある現れを待ち望むようにと教えさせたからです。（テトス 2：13）」にあり、これはイエスの再臨のことではない。イエスの再臨の時には、わたしたち教会は、イエスと一緒に地上に来るのである（ゼカリヤ書 14：5）。教会の、祝福された希望は、主が教会を取り去るために来られることで、これは、教会の携拳と言われている。そして、現在、我々が見ている事柄の、向かっている先は、携拳の後に成就する。だからわたしたちに言えることは、「わたしたちが信じたころよりも、今は、救いがわたしたちにもっと近づいている（からです。）（ローマ 13：11）」

とにかく、昨日（9/21）起こったことの重大さをお伝えしたく、数日前に、起こったアメリカの爆撃、それに対するロシアの対応、「アメリカは ISIS を援護している」という発言は前代未聞で、発せられる言葉は、まるで冷戦に戻ったようだ。プーチンは、オバマに対して我慢の限界で、オバマは任期終了間近で、明らかに無能になっている。1月にホワイトハウスを引き継ぐ者に、膨大な混乱を残していく。今現在から11月まで、そして、新大統領がホワイトハウスに入る、1月まで、ものすごい展開を目撃することになるだろう。常に目を開き、ダマスコで起こっている事に注目してほしい。また常に祈ってほしい。

もう一つ、わたしは、みなさんを、中東で唯一平和なところ、神の御手を実感できる場所、イスラエルへ招待したい。主は決してまどろむことも、眠ることもない。たしかに、いくつかの戦争が我々を待ち受けているが、それでもいま現在、イスラエルは、中東で最も安全な場所だ。実際にイスラエルを訪れた人は、たくさんの勇気を得ている。神が、その民に対してどれほど正しくられるか、散らされた所から2000年後に神の民を集め、何もない不毛の地から、多くの分野で先端を行く国を建てられた。また、神は、その子どもたちにも、同じように見せようとされている。神が、イスラエルの人々と、主が与えられた約束に真実であったのと同じように、世界中の人々に対しても、主がお与えになった約束にも、真実であられる。神と共にいるという約束、神の御許に集め、主がこの悪に満ちた世界を裁かれる間、わたしたちは天で過ごすという約束、それから、わたしたちと共に戻ってきて、主と共に千年間支配する約束、永遠の命。わたしたちの前には、すばらしい約束が待っている。そして、現在のイスラエルは、わたしたち全員にとって、神が最高の形で働かれているのを目撃する、大きな方法なのである。

またみなさん、中東で苦しんでいるクリスチャンのために、どうか続けて祈ってほしい。彼らを取り巻く環境、全てで起こっている事に、大変苦しんでいる。スンニ派対シーア派、クルド対トルコ、アメリカにロシア、そして、真ん中に立たされているのが、たいがい無実の人々である。彼らは、イエスに対する信仰のために、斬られ殺されている。だから、わたしたちは、常に彼らのために祈らなければならない。また、続けてエルサレムの平和のために祈ってほしい。平和は、平和の君が来るまでは絶対に訪れない。だから、エルサレムの平和を祈るということは、イスラエルの人々がメシアについて理解するように祈っているのだ。聖書には、残念ながら大患難が終わりに近づいた時に、またゼカリヤ書にある通り、2/3のユダヤ人が滅びた（ゼカリヤ13：8）後に、12章に書かれている通り、彼らは、自分たちが突き刺した者を仰ぎ見、彼らは嘆き、激しく泣き、そして悔い改め（12：10）、大きな贖いの日が、ここイスラエルで成就される。しかし、その日まで、みなさんには、ぜひイスラエルにきてほしい。

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー-Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージをアメリカ在住の日本人クリスチャン言波さんが翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL（英語）、「神さんの言うとおり」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まるうとしています。私はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4：7はこの声に聴き従います。目の異常でパソコン作業に非常に困難を覚えている私のためにもお祈りください。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Ryoku

